

主催：福島県建築設計協同組合

建築物の長寿命化に向けた 防水設計セミナー

～「インフラ長寿命化計画」実現のための設計者の取組み～

開催日時：2017年12月12日（火）
13:30～16:00

場 所：ビッグパレットふくしま 小会議室2+3（3階）
〒963-0115 郡山市南2丁目52 TEL 024-947-8010

講 師：東北防水改修工事協同組合

定 員：60名

（研修概要）

国が平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画」を受けて、福島県は平成29年3月に公共施設全体の状況を把握し、県民の安全・安心の確保と財政負担の軽減・平準化を図るための「福島県公共施設等総合管理計画」を策定しました。計画では約280万㎡の県有建築物の半数以上が築30年を経過しているとのことです。

同様に県内市町村でも「総合管理計画」を策定し、老朽化の状況や耐震性能の有無を確認のうえ、施設活用方針を定めることとなりますが、これらの施設を総合的かつ計画的に管理するには、専門家の視点による日常の点検や診断、さらには長寿命化のための予防保全や計画的な保全など、適時適切な修繕・更新等の整備計画の策定が求められます。

その長寿命化に向けた改修事業の対象部位となるのが、躯体の保護（外壁、防水、建具）や防災・ライフライン設備（防火、中央監視、電力、給排水）です。

本セミナーは、施設管理者を支援する立場の建築設計者に対し、身近な「防水工事」を対象に、①各種防水材料の特性をつかみながら、②過去の漏水事例を参考に、③既存施設の改修工法を選定し、④長寿命化改修に結び付ける、このことを再認識していただくための防水設計実務セミナーです。



※例えば、既存のアスファルト防水を必ずしも同工法で全面改修する必要はありません。長寿命化のための防水改修工事は耐久年数や事業費、工期、施工難度等によって選定すべき材料・工法が異なります。

(研修内容)

1. インフラ長寿命化計画の概要について
 - ・国の「インフラ長寿命化計画」と地方自治体の役割を解説
2. 各種防水材料の特性について
 - ・アスファルト・シート・塗膜の3つの防水の特徴や長所・短所を解説
3. 既存施設の改修工法選定について
 - ・既存下地別の改修工法の選定作業と下地処理について解説
4. 現場における不具合事例と対処法について
 - ・漏水実例の現場を紹介し、どのように処理すれば防げたかを解説
5. 長寿命化改修手法について
 - ・国が積極的に推進している長寿命化事業の概要と防水工法を解説

※新人研修や役員・所員の再認識の場として活用いただければ幸いです。

※定員をオーバーした場合は調整させていただきますのでご承知願います。

FAX 番号 024-522-0178

建築物の長寿命化に向けた 防水設計セミナー 参加申込書

平成29年 月 日

福島県建築設計協同組合 様

事務所名 連絡先 (TEL)	参加者名
事務所名	
TEL	

問合せ先：福島県建築設計協同組合 事務局（佐々木、松浦）
〒960-8043 福島市中町4番20号（みんゆうビル3F）
TEL：024-522-0177 FAX：024-522-0178